

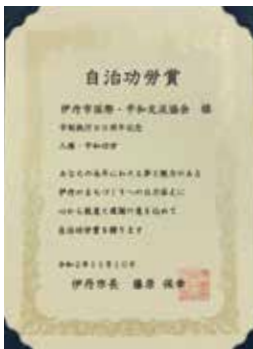
# FRIENDSHIP

# 友好

第14号 -2021年5月-

発行：伊丹市国際・平和交流協会  
事務局：伊丹市国際・平和課  
TEL：072-784-8148  
FAX：072-780-3531  
<https://kokusaitami.jimdofree.com/>

## 伊丹市制80周年記念 自治功労賞を受賞しました!



伊丹市国際・平和交流協会は、前身体団(伊丹市国際交流協会及び伊丹市平和都市推進協議会)の代からの、長年にわたる異文化理解や国際交流、平和推進の取り組みを評価いただき、2020年11月10日の伊丹市制80周年を記念した自治功労賞(人権・平和功労)を受賞しました。受賞に際しては、特に、近年需要が高まっている日本語教室につきまして、1992年の開設以来、多くの外国人に寄り添い、日本における生活を支援している点を評価いただきました。



賞状を手にする田村会長と下笠市民自治部長

長年にわたりご支援・ご協力をいただきました会員の皆様をはじめ、関係団体及び市民の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

### ご存知ですか?

やさしい
日本語

日本に在留する外国人の人口は30年で3倍に増加し、また、その国籍の多様化も進んでおり、上位10の国籍・地域の公用語だけでも9言語に上ります。様々な言語を使用する外国人に情報を伝えたいとき、多言語で翻訳・通訳をするほかに、やさしい日本語に注目が集まっています。やさしい日本語とは、難しい言葉や文法を使わない(=易しい)、外国人や子ども、障がいのある人など、誰にとっても分かりやすい日本語(=優しい)のことです。

外国人を対象とした「希望する情報発信言語の調査(東京都国際交流委員会)」によると、やさしい日本語が76%、英語が68%、日本語が22%、機械翻訳された母国が12%と、やさしい日本語のニーズが高いことが分かります。

下記は、やさしい日本語作成のためのポイントのうち、いくつかを抜粋したものです。外国語が話せなくても、少しの工夫で外国人とコミュニケーションが取れますので、地域にお住まいの外国人や、企業の外国人従業員との会話など、さまざまな場面でご活用ください。

#### ●伝える内容は大事なことに絞り、一つの文章を短くする。必要に応じて、説明を加える。

例：予約状況によっては、ご希望に添えない場合がございますので、お早めにお申し込みください。

→ 予約は <sup>よやく</sup>早く <sup>はや</sup>して <sup>よやく</sup>ください。予約が <sup>おほ</sup>多いとき、<sup>もう</sup>申し込むことが <sup>こ</sup>できません。

#### ●難しい言葉をかんたんな言葉に書き換える／言い換える(漢語より和語)。

カタカナ語(外来語)を避ける。

例：今朝 → <sup>きょう</sup>今日の <sup>あさ</sup>朝 / 避難所 → にげる <sup>ところ</sup> / ルール → <sup>きまり</sup>きまり

#### ●丁寧すぎる敬語を使わない。文末は「です」「ます」で統一する。

例：ぜひ、うちにいらしてください。→ わたしの <sup>いえ</sup>家に、<sup>き</sup>来て <sup>ください</sup>。

#### ●漢字にふりがなをふる。

#### ●イラストや写真、図を使う。





伊丹市国際・平和交流協会  
会長 田村 かよ子



平素は伊丹市国際・平和交流協会の活動にご理解・ご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年から世界を席卷する新型コロナウイルスによって、人と人の交流は滞り、様々な会議や学びの場でもオンラインが活用されるなど社会の様子が大きく変わりました。

その中で、国際交流・理解活動事業としての日本語学習サロンや日本語教室、中国語初級講座、英語講座も、新型コロナウイルス感染防止のため一時休講や延期を余儀なくされましたが、開催が出来ました事は大変意義あることだと思っています。「つながる! ひろがる! みんなの文化～ともに生きる多文化のまち～」と題した伊丹市多文化共生事業では、伊丹で暮らす外国人の出身国の文化などの紹介、国際姉妹・友好都市の近年の様子についても取り上げました。直接的交流が難しい中、外国人・日本人がお互いに伝えたいこと・聞いてみたいことを紙に書き、模造紙に貼付するなど、工夫を凝らしての試みも行いました。

平和推進事業においては、市民による戦争体験伝承のトークイベント、戦地からの手紙展、映画会などを開催し、平和の尊さを多くの方に訴えました。毎年終戦記念日の8月15日に開催される平和の鐘カリヨンコンサートは無観客での実施でしたが、平和を願うカリヨンの音色が美しい夕焼けの空に響き渡りました。

当協会での事業は、異文化理解を進め、平和の尊さを啓発するものです。新型コロナウイルスが蔓延する中でも世界情勢は刻々と動いており、絶える事のない紛争、人種差別・暴力など、理不尽な事が起きています。昨年10月には、ニューヨーク在住の日本人ジャズピアニストが現地の若者たちから暴行を受けて骨折をされ、ピアニストとしての生命も危ぶまれているとの報道がありました。犯人は捕まっていないため動機は明らかになっていませんが、新型コロナウイルスが流行する中で目立つようになった、アジア人へ対するヘイトクライムだった可能性も否定できません。多くの通行人が見て見ぬふりをする中、一方で彼を救うために救急車を呼んだ人や、彼の治療費などを募るためにクラウドファンディングを立ち上げた人など、支援の動きも広がっています。

同じ地球に生まれ、本来平等であるはずの人が、時にその心の荒廃によって誰かを傷つけてしまいます。荒んだ心は不平不満を生み、不平不満は暴力を引き起こしてしまうのです。そうした心の闇は誰しもの中に存在しているでしょう。しかし一方で、私たちは相手を思いやるあたたかい心、愛情も持っているのです。

今、世界で、日本で、伊丹で、何が起きているか知ろうとすること、異なる意見にも耳を傾けられる広い心を持つことが大切なのではないのでしょうか。そしてそれを、未来を担う青少年にも伝えていきたいと思うのです。次世代の育成が社会を変える原点だと考えます。

些細な力に見えることにも取り組むこと、地道ではありますが、これらを基本に、本年も地域に根差した活動を進めて参りますので、ご理解とご参加をお願い申し上げます。

## 伊丹市国際・平和交流協会 2020 年度事業報告

## 日本語学習サロン

外国人を対象に、日本語ボランティアによる個別・少人数グループでの日本語の学習支援を行いました。

コロナ禍においても可能な限り開講できるよう、参加者を2つのグループに分けてそれぞれ隔週参加として教室内の人数を調整したり、学習者とボランティアでソーシャルディスタンスをとりながら学習するなどして実施しました。

コロナ禍における日本語学習サロンは、日本語の学習だけでなく、外国人にとっての新型コロナウイルスについての情報収集・相談の場としても活用されました。また、今年度は地域の高校生が日本語ボランティア見習いとして数名参加して下さるなど、サロンのメンバーにフレッシュな顔ぶれが増えました。



**開催日** 2020年6月～2021年3月 火曜日

( 7月中旬～8月および1月中旬～3月中旬は、  
新型コロナウイルス感染拡大防止 および緊急  
事態宣言に伴う会場夜間貸出休止のため閉講 )

**会場** スワンホール

## 日本語教室

外国人を対象に、講義形式で初級の日本語指導を行いました。

平常の日本語の学習だけでなく、新型コロナウイルスの感染対策やPCR検査に関する日本語の語彙の学習など、生活に必要な情報も取り入れた指導を行いました。

**開催日** 2020年6月～2021年3月 木曜日

**会場** 図書館「ことば蔵」

**講師** 永瀬 美佐子 さん、芳澤 和香子 さん

## 中国語初級講座

語学の学習をととして外国への関心・理解を深めるため、初歩からの中国語を楽しく学べる講座を開講しました。

**開催日** 2020年11月～2021年2月  
水曜日(全10回)

**会場** 東リ いたみホール

**講師** 出口 亜優美 さん

## 英語講座

## 「かんたん英語と料理で知る、世界の10カ国」

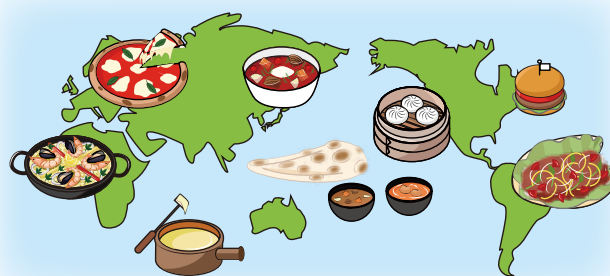
“外国の食べ物について、英語をとおして知る”というテーマで、世界のさまざまな国の食文化を取り上げ、簡単な英語で学習できる講座を開講しました。

**開催日** 2020年11月～2021年3月  
木曜日(全8回)

※緊急事態宣言に伴う会場夜間貸出縮小等のため  
当初予定より2回減

**会場** 東リ いたみホール

**講師** 稲垣 陽子 さん  
(通訳案内士、外国人向け料理教室  
Osaka Kitchen 代表)



## 伊丹市多文化共生事業

## 「つながる！ひろがる！みんなの文化～ともに生きる多文化のまち～」

パネル展  
「伊丹で暮らす外国人の母国紹介」

ミニレター交換掲示板

開催日 2021年1月12日(火)～1月17日(日)



パネル展では、伊丹市で暮らす外国人の出身国7カ国の文化について、各国の特色ある文化や風習についてのパネルや、民族衣装を展示しました。また、市内日本語教室に通う外国人学習者の直筆コメントや、国際姉妹・友好都市の近年の様子を伝える写真の展示も行いました。

ミニレター交換掲示板では、外国人や日本人が、お互いに聞きたいこと・伝えたいことをカードに書いて掲示しました。「好きな食べ物は?」「日本に来てから始めた趣味は?」など、多彩な内容がやり取りされ、コロナ禍において直接交流が限られる中、懐かしいやり方での交流となりました。



多文化共生講演会  
「トマト、キュウリそしてカボチャ  
～異なるもの同士がいかに共生できるか～」

開催日 2021年1月16日(土)

講師 ネルケ無方 さん

多くの外国人が修行に訪れる兵庫県・安泰寺の元住職である、ドイツ出身のネルケ無方さんを講師としてお招きしました。ご本人の人生をとおした、多様なルーツを持つ人がともに暮らすことの難しさや、そこから見えてくる多文化共生意識の大切さについてお話を伺いました。



## 第16回 平和の鐘カリヨンコンサート

伊丹ユネスコ協会および伊丹市とともに、終戦記念日に平和を祈念して鐘を鳴らしました。例年多くの方にご来場いただくイベントですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、開催時刻の事前告知を行わず、また、事業規模を縮小して実施しました。さらに、多くの方に平和の鐘の音を聞いていただくため、後日、コンサートの様子を市YouTubeにて公開しました。

開催日 2020年8月15日(土)

会場 JR伊丹駅前

演奏者 今野 尚子 さん、松村 江梨子 さん、吉岡 千秋 さん



2021年1月、図書館「ことば蔵」にてさまざまな事業を実施しました。

## 外国人との交流会 「～外国人と楽しくおはなししよう!～」

**開催日** 2021年1月17日(日)

**発表者** 4名 中国出身 1名、ベトナム出身 1名、  
アメリカ出身 2名

伊丹で暮らす外国人と日本人の交流会として、まずは外国の方に母国文化や日本での暮らしについてのお話を伺い、その後、参加者の方からのさまざまな質問に答えていただきました。外国人発表者・参加者の皆さんは、出身国や日本に来られた理由もいろいろで、同じ質問にもお一人おひとり様々な答えを返してくださいました。



## 学ぼう! やさしい日本語ってなんだろう?

**開催日** 2021年1月17日(日)

**講師** 福井 武司 さん  
(神戸YWCA学院 主任講師)

外国人とのコミュニケーションツールとして近年注目を集めている「やさしい日本語」についての講座を開催しました。どのように工夫すれば、日本語のままでも外国の方にもわかりやすく伝えることができるのかなど、わかりやすく、楽しく、教えていただきました。地域で話題になりやすいゴミの分別について伝える場面などを例として、実際に普通の日本語をやさしい日本語に変えてみるなどして、実践演習にも挑戦しました。



## 「フランドルの鐘」演奏

ハッセルト市から友好のシンボルとして寄贈されたカリヨンを活用し、演奏を実施しました。

2020年7月には、寄贈30周年を記念し、ハッセルト市で記念コンサート「カリヨンでつなぐ30周年」が実施され、オンラインで配信されました。当協会においても、伊丹のみならず、国境を越えてハッセルト市の皆さんにもご覧いただけるよう、下記のカリヨン演奏を市YouTubeにて公開しました。

**開催日** ①2020年11月9日(月)  
カリヨン寄贈30周年記念「フランドルの鐘の日」記念演奏  
②2020年12月19日(土) 冬のカリヨンコンサート

**会場** JR伊丹駅前

**演奏者** ①②ともに 則定 まり さん、中村 和代 さん、北野 由紀子 さん



## 平和トークイベント

### ① 市民による戦争体験の伝承

幼少期に大阪で空襲を経験された市民の方を講師にお招きし、戦時中の体験などについてお話を伺いました。また、戦争の記憶を明日へと伝えるためのビデオ「明日への伝言」を上映しました。

### ② 写真絵本「ヒロシマ消えたかぞく」について

絵本作家の指田 和さんを講師にお招きし、原爆で一家全滅した実在の家族をもとにした絵本を題材に、制作過程で知った戦時中の広島の様子や、残された親族の思いなどについてお話を伺いました。



**開催日** ①②ともに 2020年12月5日(土)

**会場** 図書館「ことば蔵」

**講師** ①守能 弘さん ②指田 和さん(「ヒロシマ 消えたかぞく」著者)

**共催** 伊丹市

## 戦後75年記念事業「戦地からの手紙展」

戦時中、日本に残された家族・友人宛に戦地から届いた手紙や写真を展示し、平和の尊さや生命の大切さについて考える機会としました。日本にいる妻や子どもの生活を気遣ったり、苦しい状況下においても友人同士で鼓舞し合ったりする内容の手紙、また、出兵前後の写真など、さまざまな資料を市民の方々や博物館などからお借りました。展示したはがきは、限られた紙面に収まるように伝えたい沢山の思いが小さな文字で書かれており、当時の人々の思いを感じていただく機会となりました。

**開催日** 2020年12月1日(火)～6日(日)

**会場** 図書館「ことば蔵」

**共催** 伊丹市

**協力** 伊丹市教育委員会



## 平和映画会

### ① コスタリカの奇跡 —積極的平和国家のつくり方—

軍事費をゼロにしてその予算を無償教育や国民皆保険制度などの社会福祉に充て、国民の幸福度を向上させる道を選んだ中米コスタリカの奇跡に迫ったドキュメンタリーを上映しました。

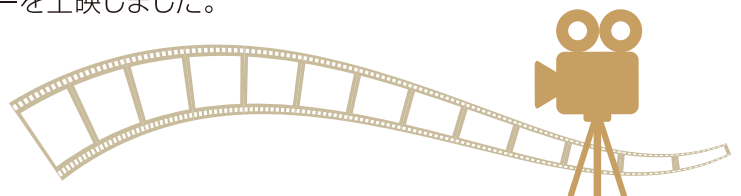
### ② ポバティー・インク —あなたの寄付の不都合な真実—

「貧しい人のために手を差し伸べよう」そんな善意で行ったつもりの寄付の裏には、ビジネス化された慈善活動が。一方的に物資を送りつける支援では、対象国の自活力が損なわれてしまいます。ハイチやアフリカを舞台に、支援される側の人たちの声を伝えるドキュメンタリーを上映しました。

**開催日** ①②ともに 2020年12月16日(水)

**会場** スワンホール

**共催** 中央公民館



## 日本語ボランティア研修会

### ①日本で暮らす外国人と日本語教室

日本で暮らす外国人の現況、地域日本語教室の役割、日本語ボランティアの心構えなどについてご講義いただきました。

### ②日本語支援スキルアップ編

学習者のニーズに合わせた教材選択やその使い方、学習の進め方などについてご講義いただきました。

**開催日** ①②ともに 2020年12月20日(日)

**会場** 図書館「ことば蔵」

**講師** ①②ともに 郷矢 明美 さん  
(兵庫県国際交流協会 登録日本語講師)



## 2020 年度 総会

2019年度事業および決算の報告と、役員改選、2020年度事業計画案および予算案の審議を書面にて行い、全て承認されました。

**表決日** 2020年6月12日(金)

## 平和学習ライブラリーの収集・貸出

### ●教材数

- ・ VHS 121本
- ・ DVD 65本
- ・ 書籍 29冊
- ・ 写真パネル 3セット

### ●貸出本数 延べ17本

### ●利用者数 延べ114人

### ●2020年度は、DVD「チョっちゃん物語」の1点を追加しました。



## 異文化理解講座

### 「伊丹の国際姉妹・友好都市を知ろう！」 ～ジュネヴァーの名産地・ハッセルト市と 中国武術と陶磁器のまち・佛山市～」

両市との国際姉妹・友好都市提携35周年を記念し、伊丹の国際交流黎明期の担当課元職員を講師にお招きし、両市の紹介や当時の国際交流にまつわるお話を伺いました。



**開催日** 2021年3月14日(日)

**会場** 東リ いたみホール

**講師** 荒西 完治 さん (元 伊丹市国際交流課(当時)職員)

## 伊丹市国際・平和交流協会 会員募集

国際交流事業や平和啓発事業に参加・協力いただける方、また、ご賛同いただき会費でご支援いただける方を募集しています。各種事業の案内送付や一部事業の参加料割引など、会員特典がございます。皆様のご入会をお待ちしています！

- 個人会員(1口)： 1,000円
- 団体会員(1口)： 5,000円
- 法人会員(1口)： 10,000円
- ジュニア会員(1口)： 500円
- \*ジュニア会員 …… 学生の方

## 平和学習ライブラリーを ご利用ください

事務局(伊丹市国際・平和課)にて無料貸出しを行っています。市内在住・在勤・在学なら、どなたでもご利用いただけます。平和学習やグループでの研修、個人での視聴などにご利用ください。詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせください。

### 協会員 伊藤百合子さんの投稿です。

皆さんはご存知でしょうか。日本最古と言われているヨーロッパからの鐘は、カトリック夙川教会の創設者故シルヴェン・ブスケ神父がフランスに発注した3口(個)です。尖塔の下には最大重量452kgから最小重量26.2kgの大小11個の鐘が据付けられています。

伊丹市にも、世界カリヨン連盟に登録されている「フランドルの鐘」(カリヨン)という大きな鐘の楽器があります。このカリヨンは、1990年に伊丹市制50周年と国際姉妹都市提携5周年を記念して、ベルギーのハッセルト市より平和と友好の象徴として寄贈されたものです。青銅製の鐘は、最大のものが直径873mm、重量375kgで、最小のものは直径156mm、重量13kgの大小43個の鐘が設置されています。鉄筋の塔の高さは15mです。

さて、ベルギーの首都ブリュッセルは、「欧州の首都」と称され、EUやNATOの本部が置かれています。そのブリュッセルからアントワープへの中間あたりに位置するメッヘレンという都市は、神聖ローマ皇帝カール5世(1500-1558)が幼少期を過ごしたことで有名です。また、メッヘレンはベルギーのカリヨン発祥地でもあります。どこからでも見ることができる聖ロンバウツ大聖堂の鐘楼のカリヨンは街に鳴り響いています。1922年には、世界初のベルギー王立カリヨン学校「ジェフ・デニン」が、カリヨン奏者Jef Denyn(1862-1941)によってメッヘレンに設立されました。この学校は、カリヨネア(カリヨン奏者)を養成する学校です。



Jef Denyn  
(提供：伊藤 百合子)

ベルギーには多くの教会などにカリヨンが設置されていますが、一方で演奏場所を選ばない、移動できるモバイル(トラベリング)カリヨンという種類も3基あります。

鐘は、日本とベルギーを繋いでいます。

2021年3月11日 東日本大震災10周年追悼式典がハッセルト日本庭園で開催され、庭園内の「平和の鐘」が撞かれ、松が植樹されました。

JR伊丹駅前のカリヨンが空に鳴り響けば、ヘンドリックとカトリエン(※)のように、音色に耳に傾けてみましょう。

※ハッセルト市の街中にあるブロンズ像の名前



東日本大震災10周年追悼式典  
左から、日白協会兼商工会議所会長 ジルベール・デクレルクさん、  
在ベルギー日本国大使 下川 眞樹太さん、  
ハッセルト市副市長 リック・デホロニューさん (提供:ハッセルト市)



ヘンドリックとカトリエン像  
(提供：ハッセルト市 Karolien Coenen)